

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23.5～26.5℃台を示し、平年並～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——台風等のシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では今期は出漁が無かった。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり8kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり0.9トンの水揚げで、前週の79%（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1トンの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり2.7トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり127kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり324kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり204kgの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。
- トビウオ船曳——北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり696kgの水揚げで、前週並（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/29～10/3）5日間、沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。